

# 令和5年度 第1回教育講演会

6月1日（木）、校内職員研修の一環として、元筑波大学人間系教授・筑波大学附属桐が丘特別支援学校校長 下山直人先生を講師としてお招きし、教育講演会を行いました。

本校では、授業力の向上を図ることを目的として、「学習や生活の場面で活用できる！生きて働く力を育む授業づくり～学習の基盤となる資質・能力を育てる～」を研究主題として校内研修を進めています。下山先生には「知的障がいのある児童生徒の学習の基盤となる資質・能力の育成」と題してご講演をいただくとともに、授業の様子についてご指導、ご助言をいただきました。



〈講演される下山先生〉

## これからの子どもたちに育てたい力

講演の中で、変化が激しく予測を超える事態が起きたり、多様な人々の社会参加や社会の分業化・専門化が進んだり、障がい者を助ける技術や仕組みが発展したりするであろうこれからの社会を生きる子どもたちに対して、自分の意思を表し、他者とかわる力や自分で選び決める力、やりたいことをもって続ける力、生活をより良いものにする力を育てていきたいというお話がありました。

## 学習の基盤となる言語能力等の育成

下山先生からは、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力はすべての学習の共通の基盤となるもので、効果的な育成のためには計画的・継続的な取り組みが必要で、個々の子どもにとって学習の基盤になる資質・能力を明確にし、「いつ」「どこで」「どのように」育むのか、教科横断的な関連を具体的に示して育成の方針を決めることが大切であるというお話がありました。



〈体育館で行われたて講演会の様子〉

下山先生にはこれまでの実践を交えながら講演いただき、私たちの日々の実践を思い浮かべながらお話をうかがうことができました。今回の講演会では、本校の児童生徒に身に付けさせたい資質・能力の育成と職員の授業力向上に向けて大きな道標となりました。今後、校内研修でさらなる理解を深め、授業づくりに生かしていきたいと思えます。